

日時

2017年11月23日(木・祝日)  
13:30～16:45(開場 13:00)

会場

熊本県立大学 中ホール  
(熊本市東区月出3丁目1番100号)



参加費 無料 (定員: 先着150人)

お申込 熊本地震コミュニティ復興支援事業報告会事務局  
(一財)ダイバーシティ研究所

E-mailまたはFaxでお申し込みください  
記入事項: お名前(ふりがな)・ご連絡先・ご所属  
(差支えない範囲でお知らせください)

apply@diversityjapan.jp

Fax 03-6233-9560 締切: 11月20日(月)

お問合せは同事務局 TEL 03-6233-9540

主催: 日本財団  
協力: ジョンソン・エンド・ジョンソン  
社会貢献委員会  
後援: 熊本県・熊本市・益城町・南阿蘇村  
(申請中を含む)

Johnson & Johnson  
FAMILY OF COMPANIES IN JAPAN

ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会  
Johnson & Johnson Contributions Committee

日本財団  
THE NIPPON FOUNDATION  
For Social Innovation

# 熊本地震における

# コミュニティ復興支援事業報告会

熊本地震から一年半が過ぎた被災地で、  
復興に臨む地元の取り組みを報告します。

これからの復興に向け、行政との連携のあり方や  
外部の専門家による復興への関わり方を議論し、  
今後の官民による復興施策へのヒントとします。



熊本県立大学構内図



会場へのアクセスは熊本県立大学HPをご覧ください。  
駐車場の数に限りがありますので、会場へは公共交通機関でお越しください。



## ～熊本地震におけるコミュニティ復興支援事業報告会について～

熊本地震から1年半が経ち、地元では今も多くの人が復興に向けて取り組んでいます。

私たちは「仮設住宅でのコミュニティ形成」と「住民参加の復興まちづくり」という二つの大きなテーマについて、これまでの被災地の経験を生かしながら、熊本市・益城町・南阿蘇村の地元6団体の活動を支援してきました。

この報告会では、その活動成果をコミュニティ復興のモデルとして発信するとともに、当事者と支援者をはじめとする復興に取り組む関係者が立場を越えて議論し、今後の支援のあり方を考えます。

## ～登壇者紹介～



### 基調講演

柴田 祐 (しばた ゆう)

熊本県立大学

環境共生学部 居住環境学科 教授

1971年生まれ。大阪大学工学部卒、大阪大学大学院博士後期課程修了。博士（工学）。造園コンサルタント、大阪大学大学院工学研究科助教、熊本県立大学環境共生学部准教授を経て、2017年4月より現職。専門は地域計画、農村計画、景観計画。

主な著書に『都市・まちづくり学入門』（共著、学芸出版社、2011年）、『はじめての環境デザイン学』（共著、理工図書、2011年）、『都市計画とまちづくりがわかる本』（共著、彰国社、2011年）、『都市縮小時代の土地利用計画』（共著、学芸出版社、2017年）、『住み継がれる集落をつくる』（共著、学芸出版社、2017年）などがある。

関西から熊本へ移って5年目。熊本地震後は、学生と共に、集落の被災及びその後の復旧状況調査を継続して実施するとともに、集落の復興まちづくりの支援を行っている。



### 事業報告

野崎 隆一 (のざき りゅういち)

NPO法人神戸まちづくり研究所 理事長

1967年神戸大学建築学科卒業。

民間デベロッパー商社などを経て、阪神・淡路大震災を契機に、復興事業のコンサルタントに。住民主体を掲げながら阪神間各地のまちづくりに関わる傍ら、東日本大震災では、宮城県気仙沼市を中心に防災集団移転事業や区画整理事業に被災者側のアドバイザーとして6年近く毎月通う。熊本地震では、益城町・南阿蘇村で復興地域づくりを支援。

兵庫県復興功労賞 & 社会賞、国土交通大臣まちづくり表彰、防災大臣表彰。

## ～プログラム～

時間	内容
13:00	開場
13:30	<b>開会挨拶</b> 伊藤 佐和 (ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会 マネージャー) 荻上 健太郎 (日本財団 経営企画部長 (兼災害支援チームリーダー))
13:40	<b>基調講演</b> 柴田 祐 テーマ:「熊本地震における復興支援の課題と展望について」
14:10	<b>事業報告</b> 野崎 隆一 テーマ:「熊本地震におけるコミュニティ復興支援事業について」
14:40	<b>報告</b> 宗像 雄矢 (熊本県企画振興部地域文化振興局地域振興課 参事) テーマ:「熊本県による復興の取り組みについて」
14:50	～休憩～ 支援先の地元団体による <b>ポスターセッション</b> を同時開催
15:10	<b>パネルディスカッション</b> テーマ:「これからのコミュニティ復興支援に向けて」 コーディネーター: 田村 太郎 (一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事/復興庁復興推進参与) 登壇者: 吉野 徹朗 (くまもと新町古町復興プロジェクト 事務局長) 吉村 静代 (益城だいすきプロジェクトききままに 代表) 樋口 務 (NPO法人 くまもと災害ボランティア団体ネットワーク 代表理事) 浅見 雅之 (NPO法人 神戸まちづくり研究所 事務局長) 兼子 佳恵 (NPO法人 石巻復興支援ネットワーク 代表理事)
16:45	閉会